

建築物環境計画書の届出状況

- (1) CASBEE届出について (P1)
(令和5年度における届出及び年度毎の推移)
- (2) 省エネ基準適合について (P.9)
- (3) 再生可能エネルギー利用設備の導入について (P.10)

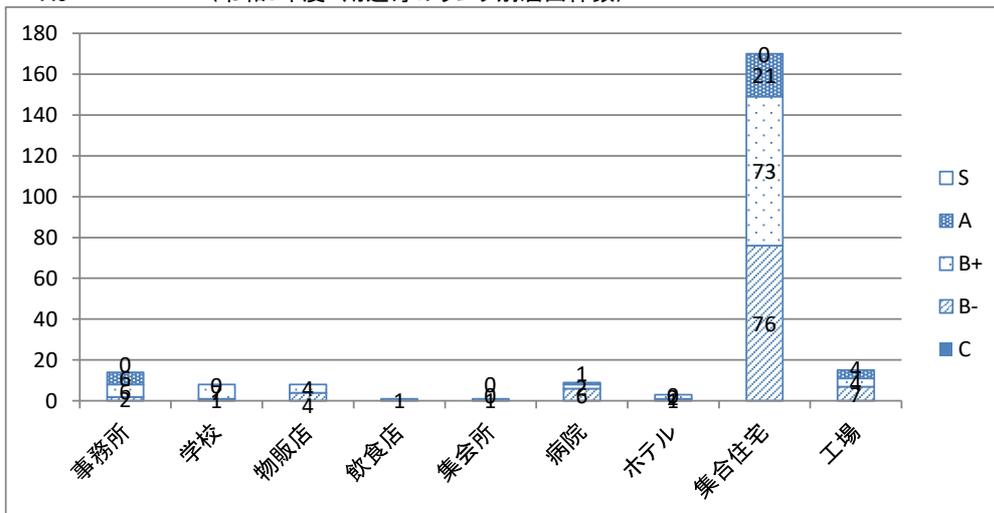
(注) この資料の中の年度の欄で、数字だけのものは平成、Rと数字のものは令和による年度を示す。

(1)CASBEE届出

● 令和5年度における届出

・集合住宅の届出(170件)が一番多く、全体(229件)の7割以上を占めている。

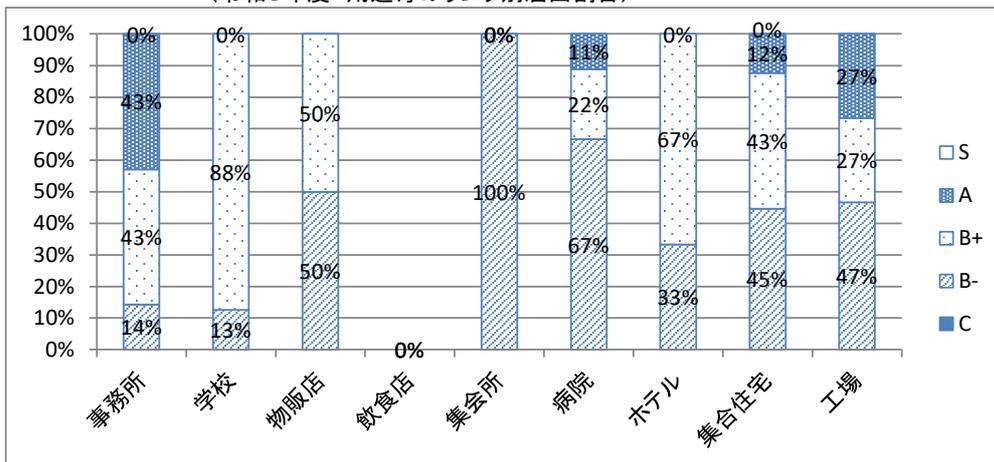
R5 (令和5年度 用途毎のランク別届出件数)



用途	事務所	学校	物販店	飲食店	集会所	病院	ホテル	集合住宅	工場
ランク	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
S	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A	6	0	0	0	0	1	0	21	4
B+	6	7	4	0	0	2	2	73	4
B-	2	1	4	1	1	6	1	76	7
C	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	14	8	8	1	1	9	3	170	15

・事務所や学校では、B+以上が8割を超えている。
 ・件数が多い住宅では、B+以上は5割程度となっている。

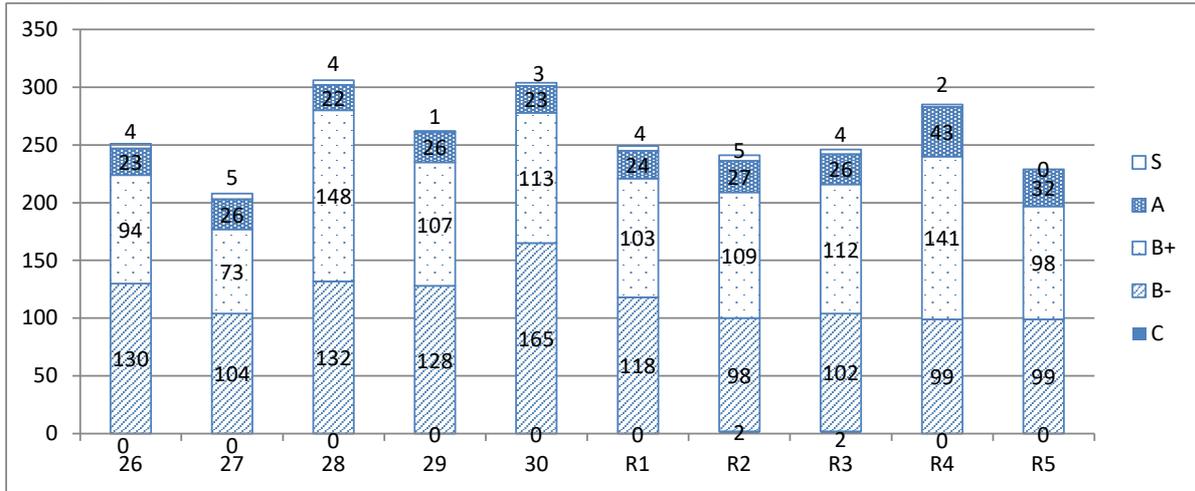
(令和5年度 用途毎のランク別届出割合)



用途	事務所	学校	物販店	飲食店	集会所	病院	ホテル	集合住宅	工場
ランク	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
S	0%	0%	0%	—	0%	0%	0%	0%	0%
A	43%	0%	0%	—	0%	11%	0%	12%	27%
B+	43%	88%	50%	—	0%	22%	67%	43%	27%
B-	14%	13%	50%	—	100%	67%	33%	45%	47%
C	0%	0%	0%	—	0%	0%	0%	0%	0%

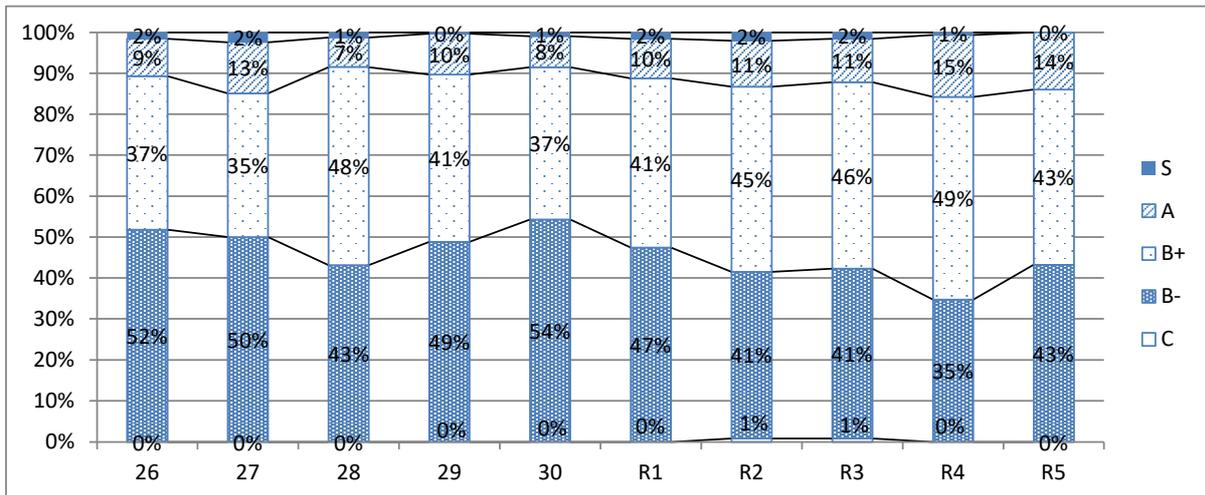
● 年度毎の推移(ランク別)

(ランク別の届出件数)



年度	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
ランク	件数									
S	4	5	4	1	3	4	5	4	2	0
A	23	26	22	26	23	24	27	26	43	32
B+	94	73	148	107	113	103	109	112	141	98
B-	130	104	132	128	165	118	98	102	99	99
C	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0
合計	251	208	306	262	304	249	241	246	285	229

(ランク別の届出割合)

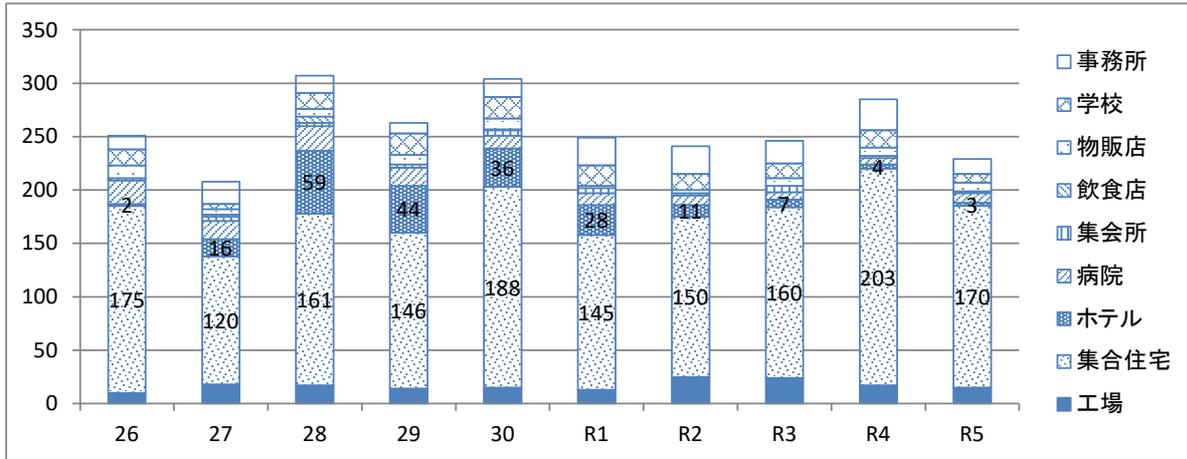


年度	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
ランク	割合									
S	2%	2%	1%	0%	1%	2%	2%	2%	1%	0%
A	9%	13%	7%	10%	8%	10%	11%	11%	15%	14%
B+	37%	35%	48%	41%	37%	41%	45%	46%	49%	43%
B-	52%	50%	43%	49%	54%	47%	41%	41%	35%	43%
C	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	0%	0%

● 年度毎の推移(用途別)

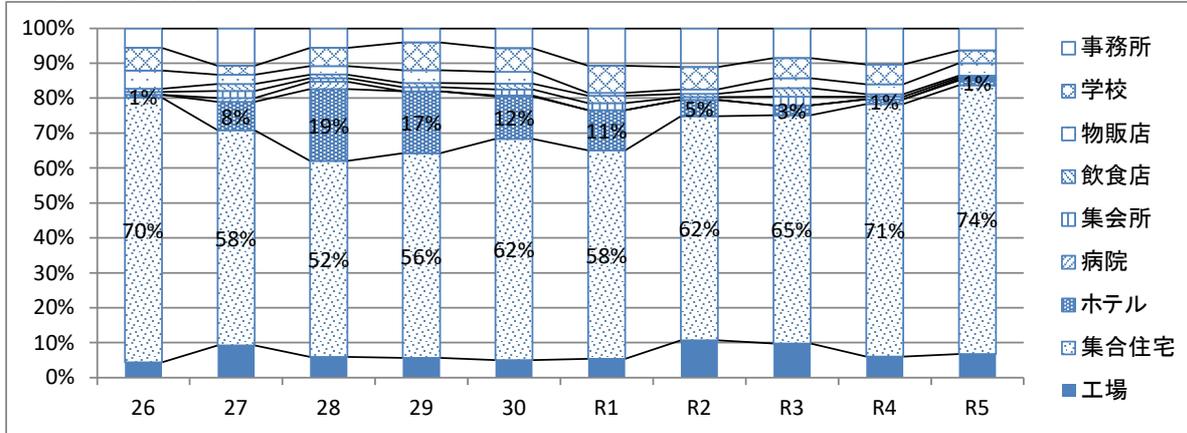
- ・集合住宅の割合は毎年一番多く、50%以上を占めている。
- ・ホテルの割合は平成28年度をピークに減少傾向にある。

(用途別の届出件数)



年度	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
用途	件数									
事務所	13	21	16	10	17	26	26	21	29	14
学校	15	5	15	20	20	19	15	14	16	8
物販店	12	5	7	9	10	2	3	7	8	8
飲食店	0	2	6	0	1	0	0	0	0	1
集会所	2	4	3	3	5	5	2	6	2	1
病院	22	17	23	17	12	11	9	7	6	9
ホテル	2	16	59	44	36	28	11	7	4	3
集合住宅	175	120	161	146	188	145	150	160	203	170
工場	10	18	17	14	15	13	25	24	17	15
合計	251	208	307	263	304	249	241	246	285	229

(用途別の届出割合)

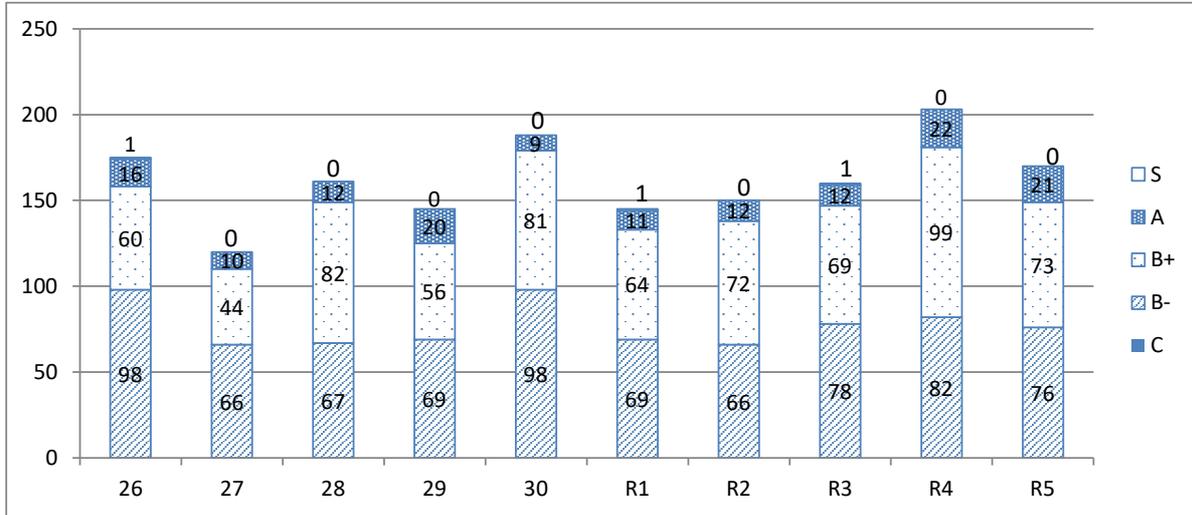


年度	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
用途	割合									
事務所	5%	10%	5%	4%	6%	10%	11%	9%	10%	6%
学校	6%	2%	5%	8%	7%	8%	6%	6%	6%	3%
物販店	5%	2%	2%	3%	3%	1%	1%	3%	3%	3%
飲食店	0%	1%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
集会所	1%	2%	1%	1%	2%	2%	1%	2%	1%	0%
病院	9%	8%	7%	6%	4%	4%	4%	3%	2%	4%
ホテル	1%	8%	19%	17%	12%	11%	5%	3%	1%	1%
集合住宅	70%	58%	52%	56%	62%	58%	62%	65%	71%	74%
工場	4%	9%	6%	5%	5%	5%	10%	10%	6%	7%

● 年度毎の推移(集合住宅)

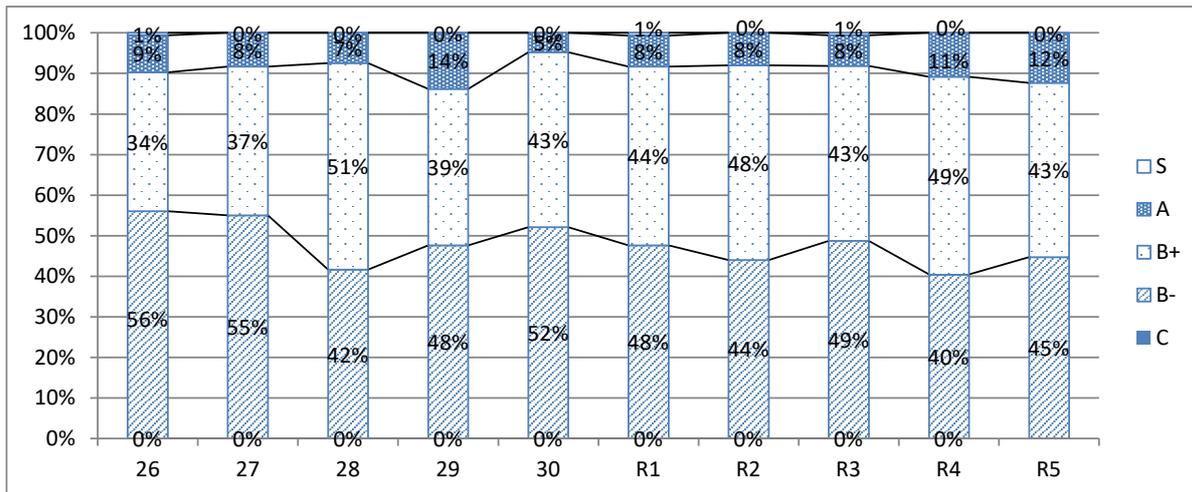
- 用途別届出件数の多い集合住宅について、ランク別の件数を算出。
- ・平成26年度以降、B+、B-が全体の約9割を占めている。

集合住宅 (ランク別の届出件数)



年度	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
ランク	件数									
S	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0
A	16	10	12	20	9	11	12	12	22	21
B+	60	44	82	56	81	64	72	69	99	73
B-	98	66	67	69	98	69	66	78	82	76
C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	175	120	161	145	188	145	150	160	203	170

(ランク別の届出割合)



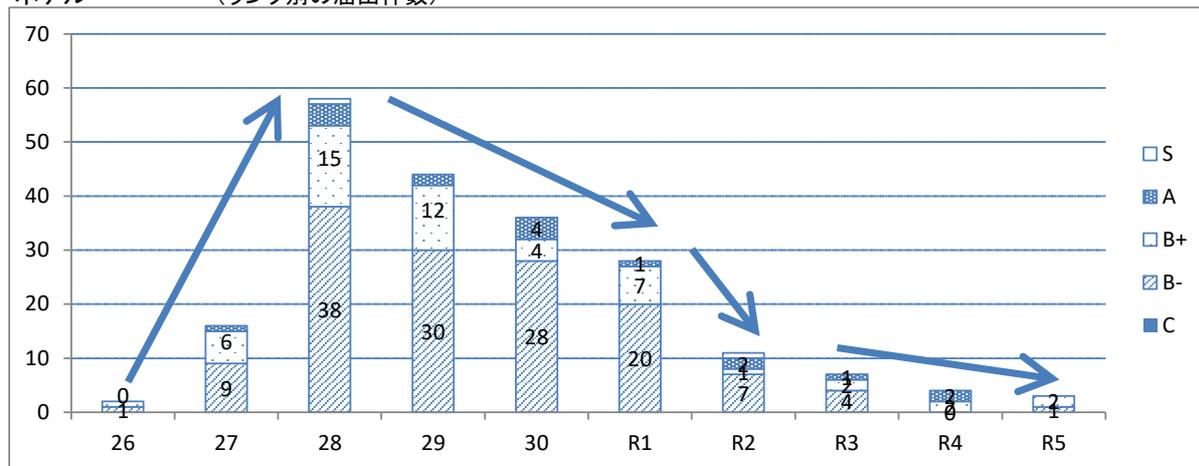
年度	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
ランク	割合									
S	1%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	1%	0%	0%
A	9%	8%	7%	14%	5%	8%	8%	8%	11%	12%
B+	34%	37%	51%	39%	43%	44%	48%	43%	49%	43%
B-	56%	55%	42%	48%	52%	48%	44%	49%	40%	45%
C	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

● 年度毎の推移(ホテル)

○ ここ数年で届出件数の増減が大きいホテルについて、ランク別に件数を算出。

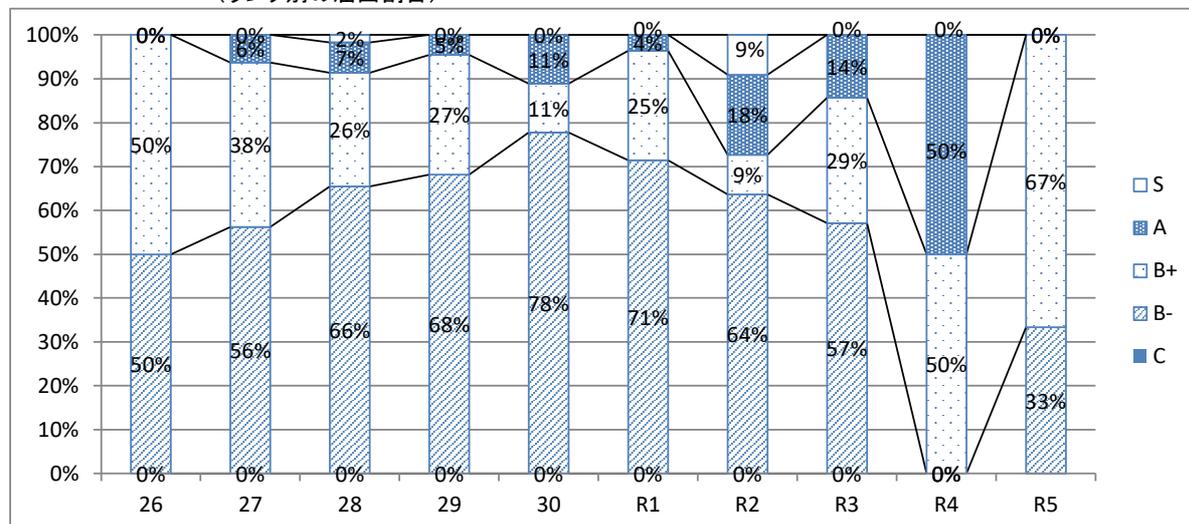
・平成27、28年度にホテルの件数が増加したが、その後は減少してきている。

ホテル (ランク別の届出件数)



年度	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
ランク	件数									
S	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
A	0	1	4	2	4	1	2	1	2	0
B+	1	6	15	12	4	7	1	2	2	2
B-	1	9	38	30	28	20	7	4	0	1
C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	16	58	44	36	28	11	7	4	3

(ランク別の届出割合)



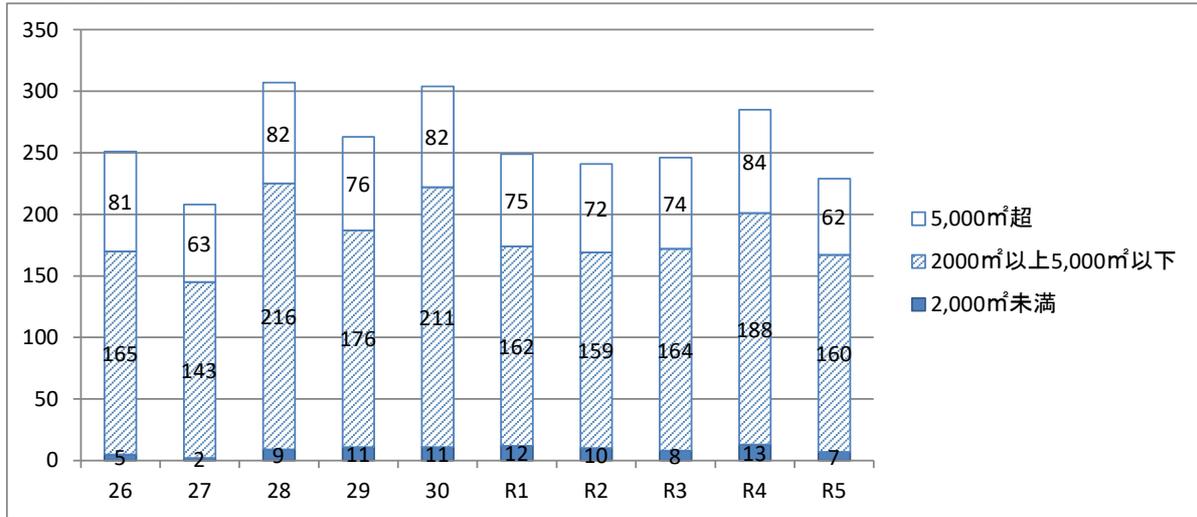
年度	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
ランク	割合									
S	0%	0%	2%	0%	0%	0%	9%	0%	0%	0%
A	0%	6%	7%	5%	11%	4%	18%	14%	50%	0%
B+	50%	38%	26%	27%	11%	25%	9%	29%	50%	67%
B-	50%	56%	66%	68%	78%	71%	64%	57%	0%	33%
C	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

● 年度毎の推移(延床面積別)

○ 延床面積に着目し、2,000㎡未満、2,000～5,000㎡、5,000㎡超で届出件数及び割合を算出。

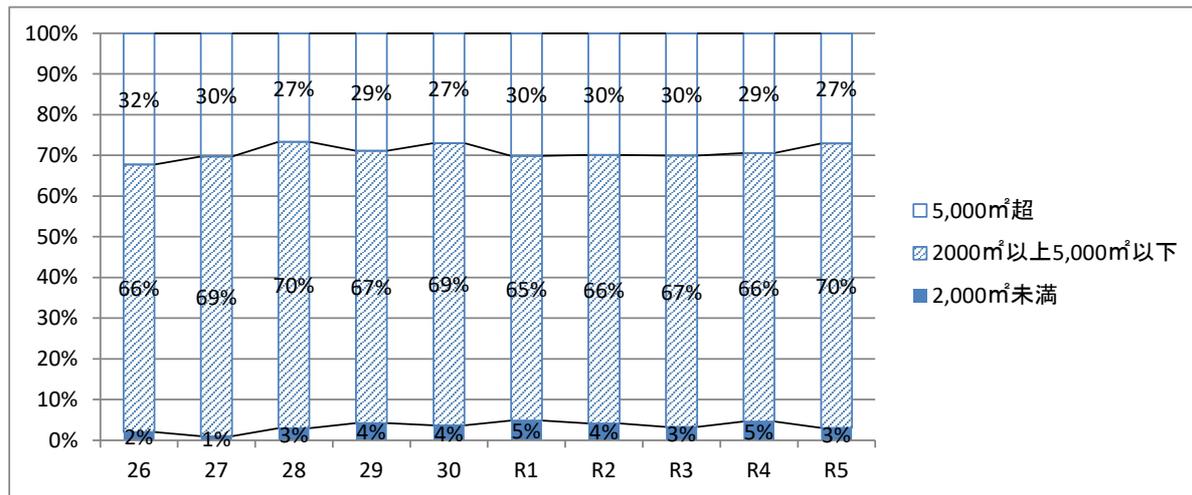
・平成26年度以降は、2,000㎡以上5,000㎡以下のものの届出件数が全体の60%から70%を占めている。

(延床面積別の届出件数)



年度	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
延床面積規模	件数									
2,000㎡未満	5	2	9	11	11	12	10	8	13	7
2,000㎡以上5,000㎡以下	165	143	216	176	211	162	159	164	188	160
5,000㎡超	81	63	82	76	82	75	72	74	84	62
合計	251	208	307	263	304	249	241	246	285	229

(延床面積別の届出割合)

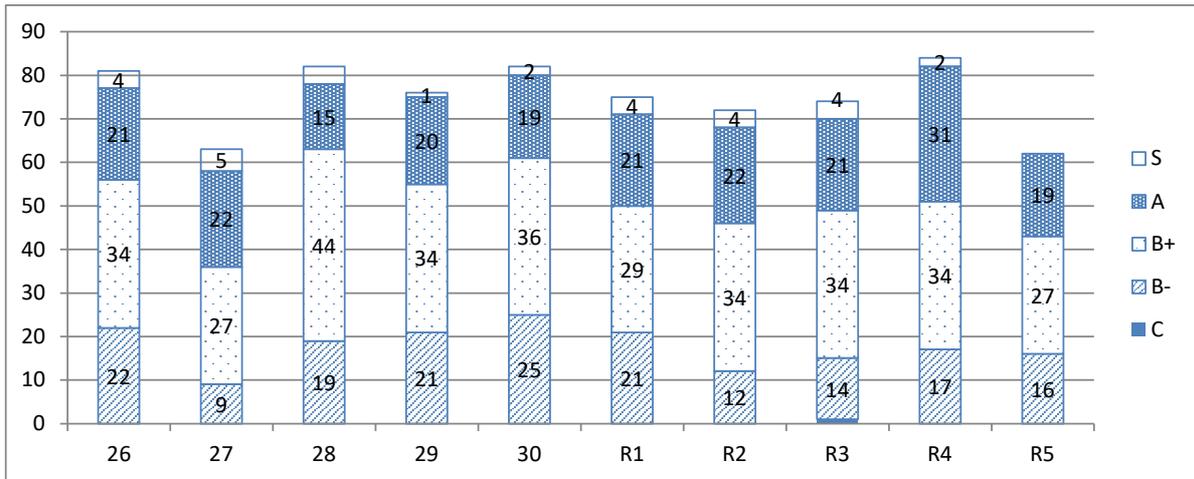


年度	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
延床面積規模	割合									
2,000㎡未満	2%	1%	3%	4%	4%	5%	4%	3%	5%	3%
2,000㎡以上5,000㎡以下	66%	69%	70%	67%	69%	65%	66%	67%	66%	70%
5,000㎡超	32%	30%	27%	29%	27%	30%	30%	30%	29%	27%

● 年度毎の推移(延床面積5,000㎡超のランク別)

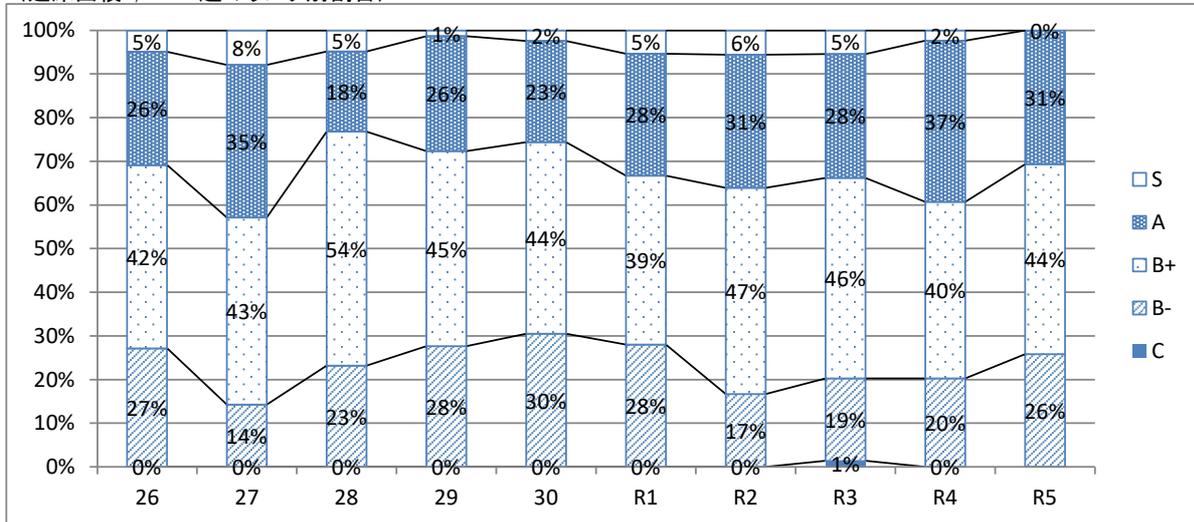
○ 延床面積に着目し、5,000㎡超のランク別件数及び割合を算出
 ・5,000㎡超ではB+以上のものが7～8割を占めている。

(延床面積5,000㎡超のランク別件数)



年度	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
ランク	件数									
S	4	5	4	1	2	4	4	4	2	0
A	21	22	15	20	19	21	22	21	31	19
B+	34	27	44	34	36	29	34	34	34	27
B-	22	9	19	21	25	21	12	14	17	16
C	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
合計	81	63	82	76	82	75	72	74	84	62

(延床面積5,000㎡超のランク別割合)

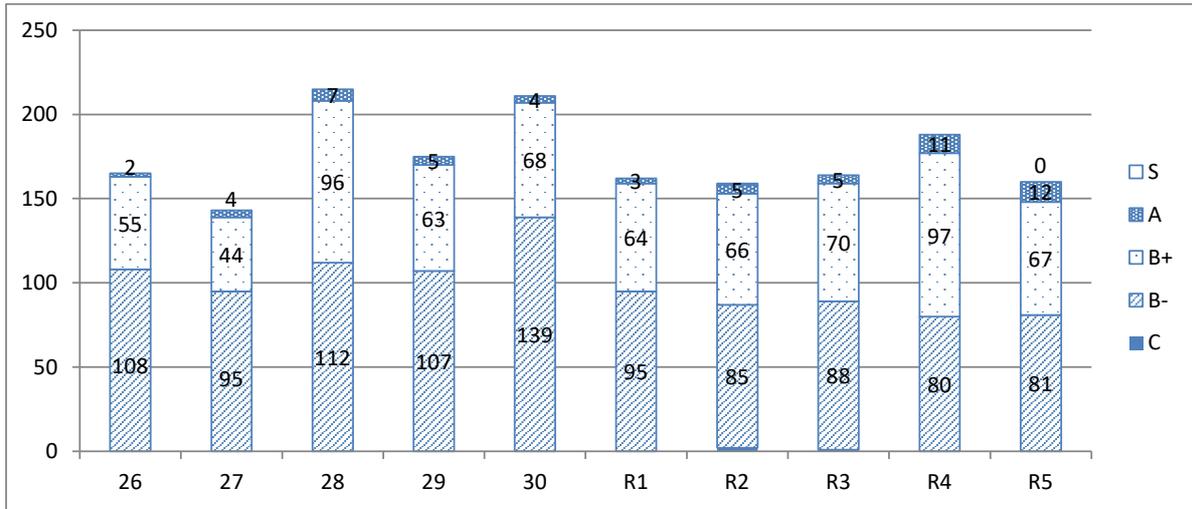


年度	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
ランク	割合									
S	5%	8%	5%	1%	2%	5%	6%	5%	2%	0%
A	26%	35%	18%	26%	23%	28%	31%	28%	37%	31%
B+	42%	43%	54%	45%	44%	39%	47%	46%	40%	44%
B-	27%	14%	23%	28%	30%	28%	17%	19%	20%	26%
C	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%

● 年度毎の推移(延床面積2,000㎡以上5,000㎡以下のランク別)

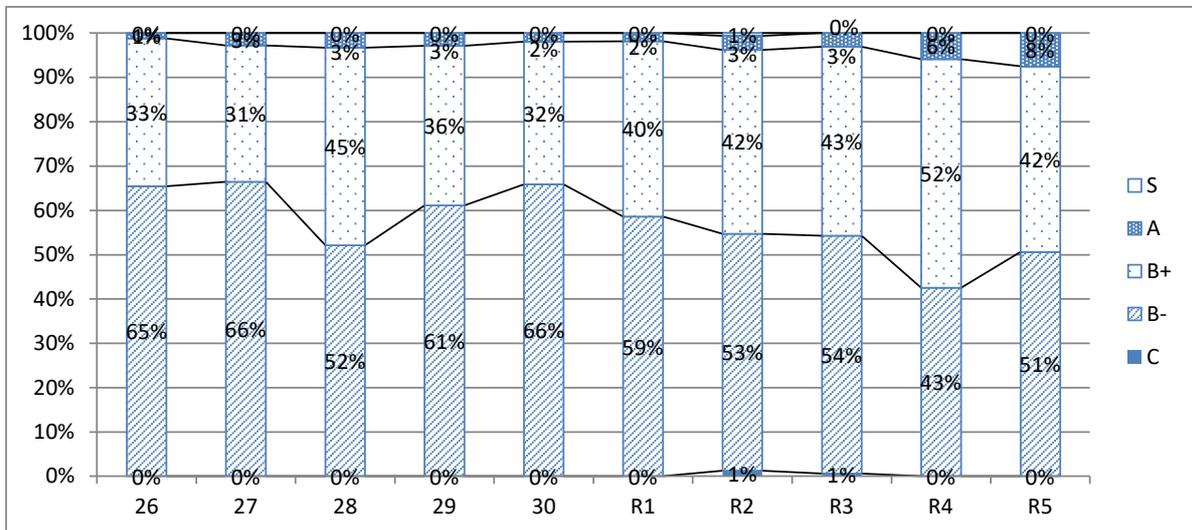
- 延床面積に着目し、2,000㎡以上5,000㎡以下のランク別件数及び割合を算出
- ・2,000㎡以上5,000㎡以下では、B+以上とB-以下の割合はほぼ同数

(延床面積2,000㎡以上5,000㎡以下のランク別件数)



年度	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
ランク	件数									
S	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
A	2	4	7	5	4	3	5	5	11	12
B+	55	44	96	63	68	64	66	70	97	67
B-	108	95	112	107	139	95	85	88	80	81
C	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0
合計	165	143	215	175	211	162	159	164	188	160

(延床面積2,000㎡以上5,000㎡以下のランク別割合)



年度	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
ランク	割合									
S	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%
A	1%	3%	3%	3%	2%	2%	3%	3%	6%	8%
B+	33%	31%	45%	36%	32%	40%	42%	43%	52%	42%
B-	65%	66%	52%	61%	66%	59%	53%	54%	43%	51%
C	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	0%	0%

(2) 省エネ基準適合について

● 省エネ基準適合の件数・割合

- ・非住宅では基準適合義務があるものが多く、適合率は96%以上となっている。
- ・住宅では基準適合義務がないものが多く、令和元年度の適合率は26%であったが、令和5年度は35%まで上昇している。
- ・全体の適合率は50%前後で推移している。

建物用途	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
非住宅	届出件数	103	83	78	79	59
	省エネ基準適合義務 有	89	73	71	67	54
	省エネ基準適合	89 100%	71 97%	68 96%	66 99%	54 100%
	省エネ基準不適合	0(※) 0%	2 3%	3(※) 4%	1(※) 1%	0 0%
	省エネ基準適合義務 無	14	10	7	12	5
	省エネ基準適合	10 71%	10 100%	7 100%	10 83%	5 100%
	省エネ基準不適合	2 14%	0 0%	0 0%	2 17%	0 0%
	合計	103	83	78	79	59
	省エネ基準適合	99 96%	81 98%	75 96%	76 96%	59 100%
	省エネ基準不適合	2 2%	2 2%	3 4%	3 4%	0 0%
住宅	届出件数	146	150	160	203	170
	省エネ基準適合義務 有	9	10	6	3	4
	省エネ基準適合	9 100%	10 100%	6 100%	3 100%	4 100%
	省エネ基準不適合	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
	省エネ基準適合義務 無	137	140	154	200	166
	省エネ基準適合	29 21%	34 24%	49 32%	76 38%	55 33%
	省エネ基準不適合	108 79%	106 76%	105 68%	124 62%	111 67%
	合計	146	150	160	203	170
	省エネ基準適合	38 26%	44 29%	55 34%	79 39%	59 35%
	省エネ基準不適合	108 74%	106 71%	105 66%	124 61%	111 65%
総計	届出件数	249	233	238	282	229
	省エネ基準適合義務 有	98	83	77	70	58
	省エネ基準適合	98 100%	81 98%	74 96%	69 99%	58 100%
	省エネ基準不適合	0 0%	2 2%	3 4%	1 1%	0 0%
	省エネ基準適合義務 無	151	150	161	212	171
	省エネ基準適合	39 26%	44 29%	56 35%	86 41%	60 35%
	省エネ基準不適合	110 73%	106 71%	105 65%	126 59%	111 65%
	合計	249	233	238	282	229
	省エネ基準適合	137 55%	125 54%	130 55%	155 55%	118 52%
	省エネ基準不適合	110 44%	108 46%	108 45%	127 45%	111 48%

(注)省エネ計算対象外となる建築物(常温倉庫、工場、駐車場等)は除いて集計。
 (※)については、市条例による適合義務がある外皮性能が基準に不適合。

(参考)建築物省エネ法と大阪市建築物の環境配慮に関する条例による省エネ基準適合義務の対象(～R3年度)

非住宅	2,000㎡～	(一次エネルギー)法による適合義務、(外皮)市条例による適合義務
	300～2,000㎡	(一次エネルギー)法による適合義務
	0～300㎡	適合義務なし
住宅	10,000㎡～、かつ高さ60m超	(一次エネルギー)・(外皮)市条例による適合義務
	それ以外	適合義務なし

(3)再生可能エネルギー利用設備の導入について

● 再生可能エネルギー導入件数

・近年、導入件数が増加傾向にある。

年度		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
区分	種類	件数	件数	件数	件数	件数
非住宅	太陽光発電	4	8	10	13	5
	太陽熱利用	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
住宅	太陽光発電	4	1	4	9	19
	太陽熱利用	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
合計		8	9	14	22	24

● 令和5年度に届出された物件の概要

建物用途	延床面積	太陽光発電容量
共同住宅	7,229㎡	3kW
共同住宅	10,397㎡	20kW
工場、事務所	6,313㎡	32kW
事務所	6,639㎡	68kW
共同住宅	6,099㎡	6kW
倉庫業を営む倉庫(冷蔵倉庫)	42,352㎡	750kW
共同住宅	2,949㎡	3kW
共同住宅	1,843㎡	3kW
共同住宅	8,120㎡	3kW
共同住宅	8,085㎡	2kW
共同住宅	5,671㎡	11kW

建物用途	延床面積	太陽光発電容量
共同住宅	4,059㎡	8kW
共同住宅	4,916㎡	1kW
共同住宅	2,838㎡	4kW
倉庫業を営まない倉庫	7,424㎡	101kW
事務所、共同住宅	3,536㎡	8kW
共同住宅	3,159㎡	1kW
事務所、倉庫	6,772㎡	30kW
共同住宅	3,502㎡	1kW
共同住宅	4,774㎡	11kW
共同住宅	4,577㎡	7kW
事務所	16,060㎡	68kW

● 再生可能エネルギーを導入しない理由(令和5年度 届出分)

○ 検討結果の届出が必須となっている太陽光発電と太陽熱利用について、導入しない場合の理由を集計。

・太陽光発電、太陽熱利用とも、「費用負担が大きい」を理由にあげているものが多い。

<太陽光発電設備>

理由	非住宅	住宅
日照が確保できない	1	0
躯体が荷重に対応できていない	13	82
敷地内に設置する場所を確保できない	7	1
費用負担が大きい	40	126
本計画では見送るが、将来対応可能とする	4	0
その他	2	0

<太陽熱利用設備>

理由	非住宅	住宅
日照が確保できない	1	0
年間を通じて安定した熱需要がない	0	0
躯体が荷重に対応できていない	13	80
敷地内に設置する場所を確保できない	7	2
費用負担が大きい	42	127
本計画では見送るが、将来対応可能とする	0	0
その他	3	0